

Life in USA

国際文化学科 横山 知佳

私がアメリカ留学を決めた理由は大きく分けて二つありました。一つは、小さいころから海外にあこがれ、様々な国の人と交流し異文化に触れたいと思っていたからです。私は以前、韓国とシンガポールへのホームステイの経験がありました。しかし、当時の私は全くと言っていいほど英語を話すことができず、言葉の壁を感じました。この経験から、英語を不自由なく使えるようになりたいと思ったことが二つ目の理由です。これらの理由から、私はアメリカ留学を決意し、4か月とうい短い期間を無駄にしないように、出発前から英語に触れる機会を増やしていきました。

出発当日からアメリカの学校に到着するまでの間に、飛行機が天候と気圧の関係で不安定だったり、8人だけ違う寮だったり、寮までの道でバスがポールにぶつかったり、部屋にあるはずの布団がなかったりと、いろんなハプニングがありましたが、とても記憶に残るいい経験になりました。

授業は、TOEIC Class, Reading/Writing Class, speaking/Listening Class, Grammar Class と最初の2か月だけ Culture Class の5つがありました。行く前に、先輩方から授業が難しい、宿題がたくさん出るから大変だと言われていたので、少し不安でした。ですが、授業が始まるころには、だいぶ耳も慣れ、先生の言っていることが聞き取れ、難しいことは言っていないと気づき、不安もすぐなくなりました。慣れない英語で話し、essayを書くことは簡単ではなかったですが、着実に力になりました。大変なことばかりではなく、ゲーム形式で問題を出し合うなど、楽しみながら学ぶこともできました。週に2回授業後に、conversation がありネイティブの学生と話す時間がありました。私の担当をしてくれたのは、Mallory という女の子でした。Mallory はとても気さくな人柄で、トランプやボードゲームをすることで英語に慣れさせてくれたり、イースターエッグを作ったりしました。

授業以外では、学校内で毎週たくさんのイベントが行われており、学生が主催して行っているものや、私たちのような international student に向けたイベントなどがありました。本場の Halloween では ESL のみんなで仮装してパーティをしたこともいい思い出です。Thanksgiving には FIS family のお宅にホームステイをしました。クリスマス前だったので、ほとんど毎日クリスマスのデコレーションをしていたことが印象的です。Thanksgiving 当日には親戚が集まって持ち寄った美味しい料理を食べました。

この経験を無駄にせず、将来に生かせるようにこれからも英語英語力の向上に努めたいです。